

# みえセンター便り No. 7

古来の5月5日は「端午の節句」といって男の子の健全な成長を祝ったが、国民の祝日法により「こどもの日」となり、女の子も一緒に祝うことが一般的になったそうです。今年のGW、皆さんはどこか行かれますか？事故など起こさないよう気をつけて楽しんでください！



お知らせ



## ■5月イベント「伊勢型紙を体験しよう！」

三重県のお宝のひとつである「伊勢型紙」は染色用具で、江戸小紋などの型染めに用いる型紙です。

日時：5月22日(水) 13時30分～15時30分

会場：支援センター 研修室

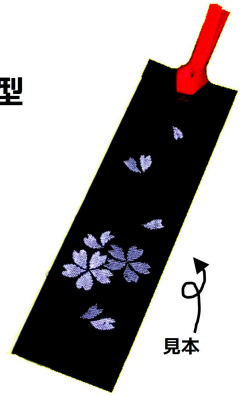
講師：宮崎雅二氏

(趣味で始めて4年目になる。今まで50点作成。聴覚障害者)

内容：手彫りのしおり(本書物の間に挟むモノ)

※材料費ひとり1,000円(紙代、道具代など) 当日集金します。

※材料準備の都合上、参加の方は**事前に申し込み**をお願いします。v(^~^ )b



## ◎情報コ～ナ～◎

### ☑伊勢市と協定

4月12日、伊勢市と県(聴覚障害者支援センター)が災害時の聴覚障がい者の支援について協定を結びました。これにより災害発生時に、伊勢市から要援護者の情報提供を受け、支援センターが支援にあたることとなります。支援の内容は、聴覚障害者災害支援サポーターを派遣し、安否確認や避難所での支援、情報提供などです。サポーターは、三重県聴覚障害者協会が開催する養成講座を受講した方に登録していただく予定です。講座開催の際には、ぜひご受講をお願いします。



### ☑県民の日記念事業に参加



4月13日、県民の日記念事業が県総合文化センターで開催され、参加しました。日常生活機器(目覚し時計、屋内信号装置)の紹介、ミニ手話教室、筆談グッズ作りを体験してもらいました。声をかけてみると、「昔、手話サークルに通ってたわ」「手話を学んだけど、忘れちゃった」と、手話で話してくれる人も。指文字で名前を表す子もいて、手話を学んだことがある人が多いのには驚きました。“聞こえない人はどうやって起きるの?”の疑問には、目覚し時計を紹介したり、自分で作った筆談グッズで“文字で”おしゃべりするなど、楽しい時間を過ごすことができました。お昼はもちろん相可高校生の手作り弁当を堪能し、よい1日となりました。



～あなたの自慢の作品を展示してみませんか!～

三重県聴覚障害者支援センターのライブラリー室を利用登録者の皆さんの文化芸術作品の発表の場として貸し出します。(使用料は無料)  
絵画、書、写真、工作など、皆さんの自慢の作品を、ぜひご披露ください。

宮崎雅二氏の「伊勢型紙」作品→



## 三重県聴覚障害者支援センター

〒514-0003 三重県津市桜橋2丁目131 三重県社会福祉会館5階 FAX (059) 223-3301 / TEL (059) 223-3302

http://www.deaf-mie-center.com/ メール deaf.mie-center@vivid.ocn.ne.jp

☐利用時間 午前8時30分～午後5時 ※ただし研修室などの利用は午後9時まで可。(要相談) ☐休館日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始